

呼吸器内科

【概要】

主任部長 石田 直 (いしだ ただし)
医師数 医長以上 8 名, 専門修練医 5 名, シニアレジデント 4 名
日本内科学会総合内科専門医 8 名, 同 認定医 7 名、指導医 2 名
日本呼吸器学会指導医 4 名, 専門医 7 名
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医 3 名, 同 専門医 4 名
日本感染症学会指導医 3 名, 専門医 3 名, 日本アレルギー学会専門医 1 名
日本化学療法学会抗菌薬臨床試験指導医 1 名, 同 抗菌薬指導医 1 名, 認定医 2 名
日本結核病学会結核・抗酸菌症指導医 2 名, 同 認定医 4 名
臨床腫瘍学会指導医 1 名, 暫定指導医 1 名, がん薬物療法専門医 1 名
日本がん治療認定医機構がん治療認定医 3 名
米国胸部医学会フェロー 1 名, インфекション・コントロール・ドクター 4 名

当科は、病床 90-100 床を有する日本でも屈指の規模を持つ呼吸器内科です。あらゆる呼吸器疾患を扱いますが、特に呼吸器感染症の分野では本邦での指導的立場にあります。また、がん拠点病院として多くの肺癌患者の治療を受けもっています。国内外の学会活動、講演や論文投稿も積極的に行っています。当科の研修により、急性期治療、集中治療も含め数多くの症例を経験でき、呼吸器内科医として十分な力量を養成できます。

呼吸器内科が担当する疾患分野は、腫瘍、感染症、アレルギー、免疫、各種呼吸不全と多岐にわたり、また救急疾患の多い科です。そのために幅広い知識と実践的な臨床能力が要求されます。当科では年間入院患者約 1800 例、外来延べ患者約 25000 例の診療に当たっており、豊富な臨床経験を積むことが可能です。特に感染症やびまん性肺疾患の領域では全国でも屈指の症例数を有しており、日本呼吸器学会や日本感染症学会のガイドライン等の作成に参加しています。またシニアの研修中に 3 ヶ月間の ICU ローテートを行い、集中治療、呼吸管理について研修するシステムを 2006 年度より導入していますし、他科ローテートの希望があれば可能です。肺癌についても年間新規患者は 300 例を超え、全国トップクラスの症例数を有しています。西日本がん研究機構や厚生労働省の斑研究を中心とした臨床試験および最新の治験にも数多く参加しており、標準治療は言うまでもなく最新の治療についても経験・習得できます。臨床試験についての知識・経験も十分に得られます。

【一般目標】

多様な呼吸器学臨床の全てを経験、理解し、独自で呼吸器疾患の診断、治療、コンサルトが可能となるよう研修する。急性期疾患や common disease に的確に対応できるようになる。また、臨床研究のうえでは呼吸器のなかでもさらに感染症やアレルギー、間質性肺炎、腫瘍等の専門性を指向して将来全国（世界）レベルで活躍できる医師を目指す。専門に偏らず、一般内科も含めた内科全般的な知識の取得にも努め、全人的に診療ができるようにする。

【行動目標】

- ・ 救急疾患および ICU 入室等の重症例は積極的に担当する。
- ・ 自分が担当した患者について集学的治療からターミナルケアまでを行えるようにする。
- ・ 患者への接遇に留意し十分なインフォームド・コンセントができるようにする。
- ・ 他科や他施設からの依頼に対して適切に対処できるようにする。
- ・ ジュニアレジデントに対して適切な指導やアドバイスが行えるようにする。
- ・ 一般内科研修として総合内科業務を担当する。
- ・ 学会、研究会等に積極的に参加し、可及的発表を行うようにする。
- ・ 研修期間中に海外学会に出張して発表を行う。
- ・ 肺機能講習会に 1 回出席する。
- ・ 研修期間中に、症例報告や臨床研究を必ず倉敷中央病院年報に 1 編。学会誌や専門誌に 1 編を誌上

発表する。

【シニア修了後の進路】

当院で呼吸器内科専門医コースに進む、大学院進学または医員として大学医局に入る（希望の大学医局可能）。他の病院にて臨床を続ける（京大呼吸器内科および他大学の関連病院、または医局人事を離れての病院赴任も可能）、などの進路が考えられる。

【子育て支援について】

当科では、出産、育児（男女とも）で大変なときは、遠慮しないで申しできれば、皆で仕事をカバーする雰囲気が出来上がっています。産休や育休についても可及的の希望に沿うように配慮いたします。またパートでの勤務を希望される場合も相談に乗ります。

○ いままでのスタッフ、レジデントの出身大学

北海道大学、秋田大学、東北大学、日本大学、山梨医科大学、富山大学、金沢大学、福井大学、愛知医科大学、三重大学、滋賀医科大学、京都大学、京都府立医科大学、奈良県立医科大学、大阪医科大学、関西医科大学、大阪大学、大阪市立大学、近畿大学、和歌山県立医科大学、神戸大学、岡山大学、香川大学、徳島大学、高知大学、九州大学、久留米大学

○ いままでの当科シニアレジデントの修了後進路

京都大学呼吸器内科、京都大学病院感染制御部、京都大学社会健康医学分野、滋賀医科大学呼吸器内科、金沢大学腫瘍内科、近畿大学腫瘍内科、香川大学呼吸器内科、天理よろず相談所病院呼吸器内科、大津赤十字病院呼吸器科、国立医療機構南京都病院、大阪赤十字病院呼吸器内科、市立堺病院、国立病院機構姫路医療センター呼吸器内科、沖縄中部病院呼吸器内科、岡山済生会総合病院緩和ケア科、九州大学呼吸器内科、神戸大学大学院医学研究科、福井総合病院、神奈川呼吸器循環器センター、神戸西市民病院

【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金
AM	・小グループカンファレンス	・呼吸器外科、放射線科との肺癌カンファレンス ・気管支鏡検査	・小グループカンファレンス ・レジデント抄読会	・抄読会 ・病棟廻診	・小グループカンファレンス
PM		・気管支鏡検査		・気管支鏡検査	
夕刻～	・入院・病棟カンファレンス	・外科との合同カンファレンス ・間質性肺炎カンファレンス	・レジデント勉強会 ・感染症抄読会 (1/M) ・膠原病内科合同カンファレンス (1/M)	・入院・病棟カンファレンス ・呼吸器外科・病理・放射線科合同 CPC (1/2M)	

●新専門医制度について

内科新専門医制度については、倉敷中央病院も新制度に対応したプログラムを作成し申請中です。今後、新しい情報が入り次第、お知らせしますので、下記 URL を参照ください。

<http://www.kchnet.or.jp/resident/specialist/program.aspx>